This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

19日本国特許庁

公開特許公報

①特許出願公開

昭53-86033

¶Int. Cl.²A 01 N 9/12A 01 N 9/22

識別記号

❸日本分類 庁内整理番号30 F 371.221 6516-4930 F 932 7349-49

49公開 昭和53年(1978)7月29日

発明の数 1 寄査請求 未請求

(全 12 頁)

多除草剤

21行 顧 昭52-126454

②出 顧 昭49(1974)9月4日 (手統補正書提出の日)

存発 明 者 行永寿二郎

草津市草津2の4の41

同

炭本信三郎

大阪市東住吉区湯里町2の126

仍発明 者 石塚一郎

大阪府豊能郡東能勢村大字吉川

15の542

同 杉田実男

池田市畑町619の6

①出 願 人 塩野養製薬株式会社

大阪市東区道修町3丁目12番地

邓代 理 人 弁理士 岩崎光隆

1.発明の名称

除草剂

2特許請求の範囲

一段式

「武中、Rは水震、アが全ル葉(シクロアルギル 薬を含む、以下同様)またはアリール葉、Rick 裏またはアルギル菜、Ricy」ル製、→CON Ric 最わされる葉(ただし、Ristが Rick 内水素、 アルギル形、アルケニル茶、アルギニル薬、アラー ルギル薬、アリール薬、アルギルチス基またはア ルコキシ革を表わずか、あるいは Ristがは近 いに直接もしくはヘテロ原子を介して結合し、含 型裏環を形成してもよい。)または→COYRic で表 わされる茶(ただし、Ricyのギル茶、アルケニ ルス・アルギニル茶、アリルギル茶、アルケニ ルス・アルギニル茶、アリルギル茶、アルケニ ルス・アルギニル茶、アリルギル茶、アルケニ ル茶、Yは酵素または低量をおわず、)、Xは水 料、アルギニル茶またはハロケンル表わず、ただし、 RとXとは互いに連結してアルキレン基を形成してもよく、また、R.R.R.R.R.R.R.R.R. または Pでおわされる各类化水素基上にはアルボル基。アルコキン基、水酸基、ニトロ基、シアノ基およびハロケンから選ばれた!種以上の製造基が存在してもよい。 >

で小される化合物「種以上を有効成分として含有 する餘章剤。

3克明の詳細な説明

「式中、Rは水煮、アルキル株主たはアリール株: 材は水煮またはアルキル株: 程はアンル株、CONS であわされる様しただし、 程および 単は各々水煮、 アニュで様、アルケニル様、アルキニル林、アリ ルキル様、アリール様、アルキルチャ様またはア ルコキュ 帯をあわずか、あるいは 程および ぜは見 いて直接もしくはハテロ原子を介してい合し、食 型素酶を形成してもよい。)または"CON" 種であ わされる基(ただし、Piはアルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アラルキル基またはアリール基、Yは酸素または硬黄を扱わす。1 : X は水素、アルキル基またはハロゲンを表わす。ただしRとXは互いに結合してアルキレン系を形成してもよく、また B. R^f、R^g、R^g、R^g または Piで表わされる各炭化水素基上にはアルキル系、アルコキン基、水酸素、ニトロ基、シェノ基およびハロゲンから遅ばれた/種以上の黄換素が存在してもよい。)で示される化合物の / 種以上を有効成分として合有する除草剤に関する。

なお、上述の用語についてさらに説明を補足すれば、アルキル基としてはメチル、エチル、プロビル・1ープチル・シクロプロビル・シクロペエンルなどが、アリール基としてはフェニル、トリル、メトキシフエニル、ハロゲノフェニルなどが、アルケニル基としてはビニル・アリル・ブチニル、プタリエニル、シクロペキセニルなどが、アルキニル基としてはエチニル、プロビニル・ブチリルなどが、アラルキル基として

انــٰـ

本発明にかかるイソオキサゾール化合物(I)は夕極の化合物 [4.]b, Ie, Id, Ie, If, Ig, Ih および14を包含し、それぞれ下配の反応式で示されるように合成することができる。

はペンジル・フェネチル・クロロペンジルなどがメ アルキレン基としてはテトラメチレン・ペンタメ チレン・ヘキサメチレンなどが、アルコエなどが、 アレン・スキサン・エールン・フロボーンなどが、アレーンなどが、アレーンなどが、アンルボーンでは、アンルボール・フロイル・プロイル・アクリロイル・メタクリー・アクロトノイル・ベンブイル・アクロハン・アノイル・アクロハン・アクンとしては塩素・取明の目的上これのに限定されるものではない。

本発用者らは各種イソオキサゾール誘導体の除草作用について詳細な研究を行なった結果。前記イソオキサソール化合物(I)が優れた除草効果を育するとともに人畜魚類などには極めて高作が低く。しかも土壌中における変件分解能が過度であることを見出し。本発明を完成した。

(式中、Aは反応性残蓄(例えば、ハロゲン、エステル残蓄)を扱わし、R,R',R²,R²,R⁴,R⁵,X およびYは前配と同意義を有する。)

以下に各工法についての具体的な合成例を示す。 合成例/

3-アミノーターミーブチルイツオキサゾール / &8 2 9 を無水ベンゼンノ4 0 到に搭解し、これにかきまぜながらイソシアン酸メチルエステル & 9 0 9 およびトリエチルアミン 0 3 到を加え、 促合物を室壁下で約 8 時間かきまぜ、一夜放置したいで / 時間加熱運廃させる。氷冷後、反応療よ り折出した結晶を炉取し、それを酢酸エチルより 再結晶し、敵点!870~!87g℃の無色針状 晶として!-メチルー3-(s-t-ブチル-3 -イソスキサゾリル)尿素21619を得る。

合成例2~65

下記の類料物質(I)を使用し、合成例!と同様に反応を行い、対応する目的物質(Ia)を得る:

表/

仓成		I		П	目的妙質(Ia)
91.6	R	X	R'	R.	P. bp. attial, R
2	H	н	Н	Me	1655-1660
3	Жe	Н	H	Жe	
4	Εŧ	Ħ	H	Жe	1575-1590
5	Pr	н	н	Мe	1550-1560
6	i-Pr	H.	н	Иr	
7	C-Pr	H	н	Мe	1570-1580
8	Ph	Н	H	Иг	1955-1960

						ز_
	9	-((1	ړ۱ړا	- 1	I Me	1930-1940
	10	Me	H	1 H	Ec	1330-1345
	11	1-1-	, 1	i H	Et	1225-1235
	/2	1 - Bo	. 1	П	Et	1790-1805
	/3	Ме	H	Н	Pr	950-967
	14	1-Pr	Н	н	Pr	885-895
	15	t - Bu	11	П	P,	1340-1350
	16	Ме	В	Н	ı-Pr	1
	17	1-Pr	11	Н	1 1.	1150-1160
	18	t - Bu	н	Н	1-11	
	19	Мe	н	Н	Bu	89.5-905
	20	i-Pr	Н	11	Hu	71.0-720
ı	2/	t-Bu	Н	Н	Bu	695-715
1	22	Ме	111	111	AL	1100-1110
ı	23	1-Pr	Н	11	AL	815-825
l	24	t =Bu	Н	н	12	1300-1310
1	25	Мe	Н	H	C- He	1640-1650
I	26	i-Pr	R	H	C-He	1615-1635
	27	1 -Bu	H	11	C-He	1935-1950
	28	н	н	н	Ph	1870-1885
l	29	Me	н	Н	Рь	1880-1890
I	30	Εı	Н	Н	Ph	1570-1585
	3/	Pr	н	11	Ph	1600-1610
l	32	ı –P r	н	11	Ph	1780-1790

	_					
	33	1 - Bu	H] 11	Ph	1985-1995
i	34	C-Pr	н	Н	Ph	1585-1600
1	35	Ph	Н	11	Ph	2105-2115(1)
I	36	-cch	- ير (را	н	Ph	1870-1880
1	37	Ме	11	н	m-Tol	1695-1700
I	38	1-Pr	Н	н	m-Tol	1645-1660
ı	39	r-Bu	Н	н	m-Tol	1885-1900(1)
I	40	٦μ-	Н	11	2-C1-Ph	l l
l	41	ı-Pr	Н	н	p-CI-th	
l	42	t - Bu	H	н	p-Ct-Ph	1885-1900d)
	43	Me	111	и	p Br-Ph	2015-2030db
l	**	ı-Pr	111	н	p-Br·H	1760-17700
ı	45	t-Bu	н	11	p-Re-14	1925(d)
l	46	H	11	м-	Мe	630-640
l	47	Ne.	1 11	и-	N-	77.0-78.0
	us	Ει	11	11-	Ме	74.0-75.0
	49	Pr	11	Me	Me	450-460
	50	i-Pr	11	ue	Иe	775-785
	5/	C-Pr	и ,	u-	Иr	67.0-68.0
	52	t-Bu	11 3	ie	Me	
	53	Ph	нЬ	1-	Me	1300-1310
	54	ا : راا) ، -	را - يرد	1	Me	/320-/330
	22	, _B, [·]	ı	u	825-835
		l			i, h	1285-1295
	•	·	- 1	- 1	i	- 1

₩₩353-86033 (4)

	1				ند ـــ
56	I -Bu	CA	Иe	Me	1550-1560
57	Mc	н	Εt	Мe	37.0-38.0
58	1 – Bu	Н	Иe	Bu	1690.1602="(CC 44)
59	i – Bu	н	н	Ме	1485-1495
60	i –Bu	H	Ме	Мe	123-125C/068mily
61	ı-Bu	Н	Мe	Al	139-14/C/069mly
62	t-Bu	н	Ме	Al	126-1280/04504
63	t –Bu	H	Et ·	Me	1065-1075
64	t –Bu	Н	Me	Ει	/683./603=*(CC(2)
దు	t-su	Br	н	Мe	1605-161.0

住)上記表中の略分は下記の意味を有する:

H (水素), Me (メチル夢)、Et (エチル幕)。
Pr (プロピル墓)。Bu (ブチル墓)。Ph (フェール墓)。Al (アリル薬)。He (ヘキシル薬)。
Tol(トリル墓)。C-(シクロー)。i-(イソー)。t-(ターシャリィー)。m-(メター)。
p-(パワー)。d (分解点)。中(胸点、で)。
bp (痹点)。LR、(赤外棘段収スパクトル)。

合成例66

ヨーアミノーよーシクロプロピルイリオギサリ ールスクリリをペンピン20世に整層し、家庭下 かきまぜながらこれにクロル炭餅イソプロビルエ

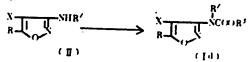
F 2

介版		ם		T	目的や異(」は)
91.A	K	T A	H'	R ^j	φ. bp. ± t;(± 1, Β,
67	Me	11	111	Мe	/360-/370
68	Er	111	Н	Ме	830-840
69	ir	11	п	Иr	660-670
70	ı - Pr	н	н	Ме	74.0-75.0
71	t-Hu	Н	н	Ме	575-585
72	н	11	11	i - Pr	875-890
73	Me	11	н	1 . 10	820-825
74	1-Pr	11	11	1 - Pr	560-580
75	t Bu	11	11	i - Pr	830-835
76	Ph	Н	11	i - Pr	1035-1045
77	- ((1)	.) .	н	1 - Pr	129.0-1300
78	C-Pr	113	н	Me	101.5-1025
79	Me	18	Me	Me	85-95"((GGH), 080mm
80	i – Bu	H	11	Me	760-770
81	t - Bu	Н	11	Et	\$1.0-520
82	н	Н	н	Me	124-125
83	t – Bu	H	Me	Me	84.0 - 87.0 (. OSSNA)

(1) お申の略号は前記と同意義を行する。

合成例67-83

下記の原料物質(II)を使用し、合成例66と 同様に反応を行い、対応する目的物質(Id)を得る:



介级例8 €

3・アミノー3・ノナルイソオキサソ・ル1962 デルビロ規範システルエステル28169を楽録 下にかきまぜながら順下すると、原料結晶は発泡 しつつ常報する。全体を整加度すると発無して反 辺する。反応度を2時間放置し、冷時折出した結 結を抑取し、メクノールノまぼで洗練し、組結結 ノク319を得る。消費と洗液を含わせて減圧 輸り、消点れる7番結晶を水平の可で洗練し、追 四い相科品と569が持られる。両相結晶を含む サ、メフィール平平町より再結結に、触点1360 ナノ370でい情製化結晶としてN (5・メア エステルノリクの9を得る。

行股侧尺多

3 / パップッタット・ワチルイワイキャワッル 28 のまにりロ炭酸シノチルエステル4の2まか 加え、家庭下にノ時間4の分かきませ、のいて 6 まじにて3時間かきませた。これに、ロ炭酸シ ノチュエファルノ34まが加え、6 まじてノ助型

特限昭53—86333(5)

かきまぜる。反応療を室屋まで冷却し、一夜放置する。これを誠圧濃縮し、折出する結晶 4.02 g をヘキサンより再結晶し、融点 5 よ 5 ~ 5 ま 5 ℃ の結晶として N - (5 - t - ブチルー 3 - イソオ キサゾリル) カルパミン酵メチルエステルを得る。 合成例 8 6

3-アミノーターメチルイソオキサゾール049 まに炭酸シメチルエステル238まおよびナトリウムメトキシド030まを加え。100℃で3時間からまぜる。冷後・反応肢に水13町を加え、少量の濃塩酸で全体を出1とし、酢酸エチルで3同胎出する。酢酸エチル無は水洗し、無水芒硝で収穫し、溶媒を留去し、淡黄色結晶のよ2まを得る。本品をシリカゲルのカラムクロマトグラフィーに付して精製し、融点よ23~3ままでの結晶としてパー(メーメチルー3ーイソオキサバリル)カルバミン酸メチルエステルを得る。

合成例とつ

イソンアン酸よーしープチルー3-イソオキサ ソリルエステル!タタまをペンゼン!20×1に影 構させ、これにN-メチルプチルでミンパノSタを加え、3時間運流させる。冷後、反応液から溶集を留去し、砂液をシリカゲルの動用クロマトグラフィーに付し、ノーブチルーノーメチルー3ー(メーレーブチルー3ーイソオキサゾリル)従来273星を得る。本品はヘキサンより再結品し、触点6よ5~665℃の結晶を得る。収率898%。

合成例88-157

下記の原料物質(N)を使用し、合成例8つと 同様に反応を行い、対応する目的物質(Jb)を得る:

(以下余白)

Æ 3

21.3				_	
行版				(1 B)	物質 (16)
PR.15	MAG H X		K,	Ru	φ. bp. 27:12 [. R.
88	t - Bu	11	Me	Mr	1195-1205
89	Me	11	н	В	201-2034)
90	I - Bu	#	11	H	1795-1805
91	Mr	Н	Mr	Me	1505-1515
92	1 · Bu	Н	Mr.	Al	900-910
93	t – Bu	"	Me	Met	1060-1070
94	71-	В		رااعرأ	1700-1710
			-CH	CH ₂	۱ ۱
95	1-81	н	Мe	Ме	69.0-700
96	ı Bu	11	Me	Иr	905-910
97	[н	Уг	Bu	1680.16/60 (CC (u)
98	ı Bu	·]	Me	Bu	1678.1620="(10014)
99	t - Bu	1	Me	Εt	88.5-89.5
- 1	t - Bu	#	Εt	Εt	1220-1235
- 1	1	"	Pr	Pr	75.0-805
102	1 150 1	1	Pr	i - Pr	200-20511
103		1	Ει	Bu	1677.16/2= (CC (u)
104	"" '	؛ ا	M+-	C-H-	1495-1505
1	- Bul I	۱ ا	Mr.	Ph	1225-1230
106 1	· Bu H	1	10	Bz	1070-1080

						ر ـــ
	100	I -B		1	1	
		t -B			1	1676.1610m (CC/4)
		1 - B	1			1676.1611m (CC1)
	110	1	1	1 .	1	1120-1130
	1	1	1	Ме	1	79.0-800
	///	Me		Mr	1 '''	89.0-900
	112	1	1	Me	Mei	91.0-920
	113	1	B	н	o-F-Ph	1700-1710
	114	Mr	11	н	34-Cl1h	2080-2090
	115	Mr	н	Н	p-NO . Ph	253-25441:
	116	N-	н	-≀ci	بر (ر ا	1930-1940
	10	Me	[11]	-(CI	-ير(را	1390-1600
	118	Εt		Иr		865-875
	119	Et	н	Mr.	Bu	1682.16240 (CCE.)
	120	Εt	11	Me	AI	465-475
- 1	121	Ει	11	Me	Met	67.0-68.0
	122	Et	н			1215-1220
	123	Pr	11	ا ۱۰۱	Me	
	124	1,		Me		88.0-89.0
1	125	Pr	- 1	Me		/680./622= (CC(Ly)
1	126	P		Mr		550-570
	127	. !	- 1			640-650
- 1	- 1	Pr		Mr.		108.5 109.0
	1	Peli	- 1		í	555-565
1	130 .		- 1 '	10 1		544.555
1 '	30		' '	CH ²)	KCII ⁷ 7"	1305-1315
					-	,

:		
2	\$.	

	/3	/ i⊣	Bu	н и	e Al	255-270
i	13.	2 i-l	Bu Ji	K H	e Met	820-830
1	13.	3 i-1	y 1	# -	CH, 1,OCH, 1	3-1095-1105
1	134	4 1-E	Na E	H F	s-Bu	1325-1340
1	135	s t-E	p 1	I H	i –Bu	1215-1220
١	136	S 1−B	b H	H	t – Bu	1805-1835
I	137) 1-B	u H	Н	34-C12-Ph	2265-2270
l		ı-B	1 -	1	Bz	1365-1375
ı		I-B	- 1		a-Me-Bı	1180-1190
l		t-B	1		1	760-770
l		t-Be			7	905-915
1		t-Bu			1	1125-1145
					i – Bu	1135-1145
		t-Bu			t-Bu	149.0-151.0
		t - Bu	1		He	1679.16150 1CCL
		t-Ba	1		a-Me-Bz	121.0-1220
		C-Pr	1	Ме	Же	1450-1460
	-	C-Pr		٦٢	Me t	775-785
٠	49			Жe	Жe	1830-1850
	50		1 1	Же	Me t	1280-1290
		«СН,			Ме	1645-1655
		·CII,		,	Me t	111.5-1120
•	2 3	t-Bu	"	-1 C	H ₂)#-	1320-1375

1 u

おうかなるないののないないといいが

合弦	N	'		目的物質	(le)*
W. K.	k	X	Y	R'	49. bp#f:/# I_R_
157	t - Bu	11	O	-CH C=CH	1265-1275
158	1 Bu	н	8	Ме	1155-1165
/59	t -Bu	н	s	Ph	1540-1510
160				-ຕາ_ແ ເ ຸ	1515-1525
161	t-Bu	н	0	-сн,сн,сн,	640-650
162	t-Bu	15	ဂ		87.5-88.5
163	t Bu	Н	o	- СН,СН,ОН	1740.16110 1CCL
164	1-Bu	н	ი	cii'ai'oai'	
165	1-Bu	11	o	a,a-MrBz	1260-1280
166	1 Bu	н	이		1250-1260

(生) 暗号は前記と問息義を有する。

行成例 / 6 2

無水メクノールリン型にナトリウムノンクリを 加えてナトリウムノトキシドとし、N-(3-1 - フナルー3ーイソオキサゾリルトカルパミン暦 ノナルエステルノ28889を加え、宰乱下ノの分 罪がきまぜたのち、メダノールを越圧倒去する。 技術に無水ベンゼン!00៧を加え、硫酸ジメナ

当特開昭53-86033(6)

154	tBu	H	-(CH ₂),-	1140-1150	ı
155	t-Bu	H	-(CH³)*O(CH³)*-	179.0-1800	l

住)表中の略号は下配の思義を有する: Met (メトキシ盖)、Bz (ペンジル盖)。 3- (セカンダリィー)。その他は前配と飼意 養を有する。

合成例!からーノもも

. イソシアン酸ターメチルー3ーイソオキサゾリ ルエステルミク!まをベンゼン46町に製造させ これにアリルアルコールの889分加え、3時間 運流させる。冷棲・反応度から落箕を留去し、N ー(ミーメチルー3ーイソオキサゾリル1カルバ モン曹アリルエステル23889テ得る。本品ダン クロヘチサンより再結晶すると融点クムミー775 での結晶を得る。

下記の原料物質(17)を使用し、上記と同様に 反応を行い、対応する目的物質(Ie) を得る:

んまる!まを腹下し、1時間かきまぜたのち、さ らにノ時間遺院する。冷後,不路物を抑去し、ベ レゼン溶液を飽和炭腫水素ナトリウム水原療およ び水で帯次疣難し,無水芒硝上で乾燥し,旅程を 留去する。残疾を集留し、蔣点840~870℃ /OSS町内の留出物としてパーメチルーパーし S - l - プチルー B - イソオキサゾリル l カルパ ミン値(ナルエステルノバリS9を得る。

(以下余日)

合成例 / 68 - 170

会成例 / 67と同様に反応を行い,下記の目的 物質を得る:

表 5

合成		自	8) to g	(If)
91.6	R	X	R'	R²	ም.bpまたはLR
					96-975C/05mHg
169	i-Bu	н	Уæ	-сосн,	98-100C/042mH
170	Мe	CI	Уæ	-сосн,	8283C(浴型)/036==

住り略号は前記と同意義を有する。

合成例!フィ

イノージメチルー3ー(ターもープチルー3ーイソオキサゾリル)尿素! Q 9 9 月を乾燥したジメチルホルムアミド / O 以に搭解し、室風下にかきませつつ 5 0 形水素化ナトリウム 2 7 5 9 を加え、60℃で / 5 分間加温する。 / 0℃に冷却しヨウ化ノチルよ 8 6 月を乾燥したジメチルホルムアミド3 0 以に烙かした烙板を加え、/ 時間で演



177	C Pr	н	M	-CON(CH,),/	300-131.0°C/038==14 681_1623==1(CC1_)
178	m	н	71-	CON(CH ₂),	681 ~1623m=" (CCI ,)

住)略号は前記と関集機を行する。

合成例/クタ

合成例1ク1と同様に反応処理し、1・(まーンチルー3・イソスキャゾリル)採集から離点
フスロ~780℃の結晶としてん3ージメチルー
3ー(ま・メチルー3ーイソスキャゾリル)採業
21%および離点14&0~1420℃の結晶と
して1ーメチルー1ー(ま・メチルー3ーイソス
キャゾリル)採業485%を得る。さらに離点
ままの~3&0℃の結晶として3ーメチルアに1・ホーメチルイソスキャブ・ル127%を刷生する。

分级例/80

合成例171と同様に反応処理し、1-(5t-ブチルー3・イソオキサブリル)尿素から、 触点900~910℃の結晶として113-トリ メチルー3-(5-t-ブチルー3-イソオキサ ソリル)尿素561%、触点1500~1510 下し、80℃でよ分間加熱し、溶媒を留去する。 残価に水!80㎡を加え、クロロホルムで抽出する。クロロホルム層を無水芒硝で乾燥し、溶媒を 留去し、残価をシリカゲルクロマトグラフィーに 付し、融点90~910℃の結晶として113~ トリメチルー3~(3~1~ブチルー3~1)オ キサゾリル)尿素!0949を得る。収率9338 %。

合成例172-178

合成例 / ク / と同様に反応を行い、下記の目的 物質 (If) を得る:

$$\begin{array}{c|c}
X & R' \\
\hline
\downarrow i & N \\
R & O' N
\end{array}$$
(11)

表る

合成		_	E	的也	莱
例.6					中, bpまたは1. R
172	7F	H	*	-CON(CH,)	/05-/08'C(浴盘)//Q48=====
173	E	н	75	-00%(CH,),	1130-1140°C/086==H4
174	Pr	н	¥-	-CON(CH,),	1150-1160c/060=Hg
175	i-Pe	н	77-	CON(CH,)	1060-107.0c/0.30=14
176	i-Bu	H	1	- CON(CH ₂) ₂	/230-/240C/054mHg

での結晶としてルヨージノチルーヨー(ター Lープチルーヨーイソオキサゾリル)尿素をクユギ% 収率で、さらに触点ノヨリの~ノヨミのでの結晶 としてノーノチルーノー(ター L - ブチルーヨー イソオキサゾリル)尿素を半ムタク%収率で得る。 他に病点よるでノのフノ細中配分の留出物として ヨーメチルアモノーター L - ブチルイソオキサゾ ールノリヨの%相当を断生する。

合成例/8/

合成例1つ1と同様に反応処理し、1-メチル -3-(5-L-ブチルー3-イソオキサゾリル) 尿素から融点150~1510での結晶として 13-ジメチルー3-(5-L-ブチルー3-イ ソオキサゾリル)尿素を収率143%相当で、さ らに融点900~910での結晶として113-トリメチルー3-(5-L-ブチルー3-イソオ キサゾリル)尿素を339%収率で得る。

合成例 / 8 2

ノーメチルー3~(S … ノチル … 3 … イツオキ サゾリル)尿素を使用し、合成例 / 6クと同様に 反応を行い,融点!46~!47℃の結晶として !3ージメチルー3~(3~メチルー3~ィソオ キサゾリル)尿薬を得る。収率3よ3%。

合成例/83

ノーメチルーノーブチルー3ー(5 - i - ブチルー3ーイソオキサゾリル) 尿素とヨウ化メチルを使用し、合成例 / フノと回様に反応を行い、沸点 / 30~ / 35°C (裕温) / 025 m 均の 油状物として / 3 - ジメチルーノーブチルー3ー(5 - i - ブチルー3ーイソオキサゾリル) 尿素を得る。

介成例/84

ノーメデルー1ープチルー3ー(5ー1ープチルー3ーイソオキサゾリル)尿薬とヨウ化エチルを使用し、合成例171と阿様に反応を行い、滞成130~135℃(俗温)/025m14の抽状物としてノーメチルー1ープチルー3ーエチルー3ー(5-1ープチルー3ーイソオキサゾリル) 保裏を得る。

合成例/85

としてパノージンチル・ヨ・(ターンチルー3 インミオサブリル)駅底の47331を持る。収 436%。

介收例/87

3-1チルアミノ・5・1 - ブチルイソミキサソ・ルを使用し、介成例186と網線に反応を行い、離点900~910℃の結晶として113 トリノチル・3・(5・1-ブチル 3 イソオキサソリル)尿素を得る。

合成例188

3 アミノ 3 ノチルイツキキサノ ル100 タに99%で酵4209を加え、かきませながら ノ時間遮然にせる。反応数からキ酸を延生配去し 減済に水水30៧を加え、折出した結晶を呼取す ら くの結晶を水洗し、越圧乾燥し、3 ナルミ ルアミノ 5 ノチルイツオキサブ ル1206 9を待る。本品をメタノ ルより再結品し、順点 1305~1310℃の結晶を得る。

合成例189 197

F記(中海科物質(II)を使用し、合成例/ままと

/-エチルー/-ブチルー3ー(ターメチルー3ーイソオキサゾリル)尿素とヨウ化メチルを使用し、合成例/ク/と同様に反応を行い、沸点/40~/45℃(裕祉)/Q67畑ゆの袖状物として/-エチルー/-ブチルー3ーメチルー3ー(ターしーブチルー3ーイソオキサゾリル)尿素を得る。

金坂例/86

3-アミノーターメチルイソオキサゾール 4906時にピリジン3月と塩化ジメチルカルバ モイル人!8月を加え、60℃にでよる時間かき まぜる。ピリジンを無圧下に留去し、残疾に水 ノ 5 献と5 9塩酸を加えて出しとし、クロロホル ムで抽出する。クロロホルム抽出液よりクロロホル ルムを留去し、残疾による%メタノール性水酸化 ナトリウム液25 耐を加え、溶媒を留去する。残 液をクロロホルムで再抽出し、クロロホルムを解去 水水し、ご硝で乾燥したのちクロロホルムを解去 水水し、ご硝で乾燥したのちクロロホルムを解去 する。残疾をシリカゲルの健康クロマトグラフィ よったて精製し、離点!305~!5人5℃の結晶

同様に反応を行い、対応する目的物質(lz)を得る:

Æ 6

介版 8			引 的 物 質 (le)
6 1.6	R	X	ap, bp ± f: (± 1, R
189	H	11	104-105
190	76.	н	1305-1310
191	Eı	11	67-69
192	Pr	Ħ	845.855
193	· Pr		/25 /34°C(俗型)/04-04.2mly
194	Ho	н	/30 - /40'(:(Kith), 073 - 0.7 4mily
195	: 1'e	н	923-933
196	in,	н	/32-/33
197	(CH,		/52-/66°C (宋祖) / 0.69 · 0.65 mily

但)略号は前記と同意概を行する。

介版例198

3 アミノ 5-1-ブチルイツオキサツ ル 2809に無水酢酸る耐を加え。室型に4時間放 数13 反応務に治水30副を加え、折出した結 品を护取する。この結晶を水洗し、乾燥し、3ー アセチルアミノー3ー リープチルイソオキサゾール3399を付る。本品をヘキサンより再結晶し 触点/205~/210℃の結晶を得る。

仓取例 / 99-203

下記の原料物質(II)を使用し、合成例/98と 同様に反応を行い、対応する目的物質(IR)を得る:

$$\begin{array}{c} X \xrightarrow{\parallel} NiiR' \\ R \xrightarrow{\parallel}_{0} N & R \xrightarrow{\parallel}_{0} N \end{array}$$

$$(1g)$$

表 7

合成		1		8 8	9 物 質(ig)
91.6	R	X	R'	R ²	甲. bpまたはLR
199	Ж	Ħ	1	-coch,	88-92C/Q95mHy
200	ı-Bu	н	H	-00CF,	1450-1455
201	t-the	Ħ	н	-COCF ₂ CF ₃	1030-1040
1				-сос'н	///-//6C(浴蟲)/ Q45 mly
203	¥	a	H	-сосн,	1220-1225

住)略サは前記と同意義を打する。

<u>- - 3</u>

介成例209

台成例210

ノーンチルー3・(5・ ノチル・3・ イソオキサゾリル)原業を使用し、合成例209と同様に反応を行い、抽状物としてノーメチルーノーブチルチャ・3ー(5- ノチルー3・イソオキサゾリル)Fをなる。1.8.1693、1618 m⁻¹ (CC1。)。

台成例211

5 1 プチル・3 イソイキサゾリルカルバ

合成例204

3-アミノー s - t - ブチルイソオキサゾール をペンゼンに配解し、これに塩化ペンゾイルとピリジンを加えて反応せしめ、融点!92~!93 ℃の結晶として3-ペンゾイルアミノー s - t -ブチルイソオキサゾールを得る。

合成例205-208

下記の原料物質(II)を使用し、合成例204と 同様に反応を行い、対応する目的物質(IR)を得る:

$$\begin{array}{ccc}
X & & & & & & & R' \\
R & & & & & & & & & & & R' \\
& & & & & & & & & & & & & R'
\end{array}$$
(18)

表8

合成		I		E	的 物 質(lg)					
44.6 R X R					中, bpまたは LR					
205	t-Bu	H	Н	-00011701	1055-1065					
206	t-Bu	Н	H	-cochci,	1240-1250					
					1745-1755					
208	t-Bu	H	ı-Pr	-coch,ci	/686./585=**(CC)					

注)昭号は前記と同意義を有する。

ミン酸ノテルエステル2009と無水酢酸ナトリウム09/3を水酢酸3 叫に溶解した溶液に臭素2009を加える。これを70%にて3/時間機伴し、繊糖酸液を加え、水水30 叫に住加し、塩化メテレンにて抽出する。有機腫を炭酸水素ナトリウムの触和水溶液と水で吸次化作し、減圧機能して溶媒を留去する。由状物として4-ブロモ
3-1-ブテルー3-イソオキサゾリルカルパミン酸メテルエステル2779を得る。1.R./774/203 cm^{-/}(CCI。)。

介成例2/2

イノ ジメチルー3・(sー t・ブチル・3 イソオトサブリル) 尿素を使用し、合成例2 / / と同様に反応を行い、融点 / 6 4 5 ~ / 6 5 5 での結晶として / / ・ジュチル・3 (4 ・ブロモー5 ・ t・ブチル・3・イソオキサブリル) 尿素を得る。

行成例2/3

イソンアン**酸3** イソオキサブリルエステニを 使用し、台版例**8クと**同様に反応を行い、前払物

特第353−86033 (Lu)

として!ーメトキシー!ーメチルー3~(3~ィソオキサゾリル)尿素を待る。 I.凡!ク!ク . // よりまで**(CCl*)。

仓域例2/4

パノージメテルー3ー(& & & ? ーナトラヒドローパューペンズイソオキサゾールー3ーイル) 尿素を使用し、合成例 / ? / と同様に反応を行い、 沸点 / 3 & 0 ~ / 3 ? 0 ℃ / Q \$ 8 阿申の抽状物 としてパパヨートリメテルー3ー(& & & ? ーナトフヒドローパユーペンズイソオキサゾールー3 ーイル) 尿素を得る。

これらイソオキサゾール化合物(1)は各種雑草に対して少量の使用量にて優れた除草活性を示すが、使用級度を変更し非選択性除草剤として。また選択性除草剤が一般的に使用できる対象作物としては、小麦、大麦、トウモロコシ、ニンジン、ラッカセイ、豆頭、水稲などが例示される。また特に作物組付後に使用できる場合としては、サトウモビ、パレイショ。カンショ、ハッカ、ナス、ピ

ーマンなどが例示される。これらの作物に対する本発明の除草剤による薬害はほこんど告無であるか、極めて軽熱であつて容易に回復できる程度である。また人や家畜類には無害安全であり、さらに魚貝類に対する毒性も極めて低い。従って本発明の除草剤は極めて安全性が高く、土壌中残留性も適当な義剤群である。

本発明のイソオキサゾール化合物(1)は、N位 活性水素が存在しているときには製剤化あるいは 安定性の向上などの必数性如何により、その適当 なアルカリ金質塩またはアルカリ土壌金属塩とし て使用してもよい。

本発明にかかる除草剤は、有効成分としての上起化合物(1)に適当な固体または液体の不活性型体を配合して使用されるが、必要によりさらに補助剤(例えば、乳化剤、安定剤、分散剤、整備剤、展養剤、浸透剤、湿肤剤)を部加して、所切の剤型(例えば、乳剤、水和剤、類粒剤、防剤、粒剤、は調製して使用すればよい。担体としては、クレー、クルク、けい番土、ペントナイトなどの均

....

形担体、水、アルコール酸、アセトン、ペンゼン、 ドルエン、キンレン、ソルベンドナフサ、シクロ ハキサンなどの板状具体が集けられる。

なお本発明の除草剤は殺虫剤、穀嚢剤、他の除草剤などの農養、健安、尿素などの患効成分、あるいは土壌処理剤などと配合して使用することもできる。

以下に試験例を挙げて本発明の軟章制について その除章活性を示す。

战解例 /

*) 供試化介粉

化合物系

化合物名

- / / · /チルーヨー(ま・エチル 3 · イソオキサブリル)観察
- 2 / ソナルー3~(5 イソプロビルー3・イソオキサブリル)別点
- 3 / メチル 3・(3 イッツチュ・ 3 イノとキサブリル)屋基
- イングチル・3 (5 1 グチュー 3 イノセキャブリル)保証

. -

- \$ /-/チルー3-(3-シクロプロビ ルー3-イソオキサブリル) 保森
- 6 N-(3-イソプチル・3-イソオキ サゾリル)カルバモン使ノチルエステル
- ク N-(まーし・プチルー 3 イソオキ サゾリル)カルバミン酸メチルエステ
- 8 N-(3-シクロプロピルー3・4ツ オキサゾリル)カルバミン酸ノチルエステル
- 9 イノージノチル・3ー(S・t・ブチル・3ーイソオキサブリル)原素
- 10 パヨージメチルーヨー(ヨー1・ブチルーヨーイソオキサゾリル)保益
- // 人人ヨートリンチルーヨ・(s l ブチル・ヨーインオキサブリル)従裔
- 12 13 コンチルー3 (4 カロコ 5 リップチル 3 インセエサノタ ル)供新

- / * / エテルー 3 (S t プチルー 3 - イソオキサゾリル) 尿素
- / S / ブチルー 3 (S L ブチルー 3 - イソオキサゾリル) 回来
- / 6 /-アリルー3-(3-1-ブチルー 3-イソオキサブリル)尿葉
- /7 PCP-Na (ナトリウム・ペンタクロロフエノキシド)

b) 放映方压

①発芽前処理試験

被験観物の種子23粒を直接す四の砂線土をつめたポリエチレンカップに種類別に搭種した。接種後的3年の厚さの変土を行い。ただちに供献化合物の水性軽極度(展育剤としてツィーン20の100月m相当を使用を土壌表面に敷布した。供試化合物の使用量はアール当りで109および309とし、また敷布板の稀製水量はアール当り

/01とし、クロマトスプレーで散布した。智理は25℃、自然日照の風室内で行った。 婆剌処理 後3週間目に発芽度を検定した。

②発芽後処理試験

被験植製の無種後 / 0日目の幼植物に、発芽的 処理試験と同様の方法で、供試化合物について処理を行った。管理および検定も上記の方法と同様 に行った。

c)評価方法

試験結果は、各処理後に肉鋭観察を行なうとともに、3週間後における生存個体数によって生存率を算出し、次のようなる段階評価を行って表示した。

数数値物の生存	字字 / 0%以下	5 .
•	11~25%	¥
•	26~50%	3
•	51~75%	2
-	76~90%	,
•	9 / 95以上	0
		(以下余日)

4) 新東

A

~	<u> </u>												
10	11 17	_	M	k	4	2	۲	F	F	B			
.6.	13.10	\perp	K 4	n	5	K			免多	护檄	奴!	K	
L_	111 ■	Λ	В	С	D	E	P	A	В	С	D	E	F
١,	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7
Ŀ	30	0	0	0	/	0	0	2	0	0	5	0	2
ړ	10	0	1	3	5	3	5	0	/	/	5	4	5
	30	0	3	¥	5	3	5	0	4	4	5	5	5
3	10	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	3	2
	30	0	0	0	3	/	0	0	0	0	5	¥	4
u	10	0	2	5	4	5	5	0	5	5	5	3	5
	30	0	3	*	5	5	5	0	5	5	5	5	5
5	10	0	0	0	,	0	0	0	0	/	5	4	5
	30	0	0	0	4	/	4	0	0	2	5	5	5
6	10	0	0	0	/	0	/	0	0	0	5	7	0
	30	0	0	0	/	0	/	0	0	0	5	,	0
7	10	0	0	2	¥	3	2	0	0	3	5	5	3
	30	0	2	3	5	5	5	0	0	4	5	5	5
							- 1						

8	10	16	0	0	2	2 /	′ /	10	0	, () 5	1	2 3
Ľ	30	4	0	, ,	. 5	3	3	10	0	, ,	, ,	4	3
9	10	7	' 5	. 4	5	5	5	10	, ,		, ,	. 5	3
Ľ	30	1	<u> </u>	5	5	5	5	1		•	• •	• \$	5
10	10	7	5	5	5	5	5	1	5	5	• 5	5	
Ľ	30	/	5	5	5	5	5	1	5	5	• 5	5	5
[, ,	10	0	2	4	5	5	3	0	4	5	3	3	5
Ľ	30	0	3	5	5	5	5	0	5	5	5	5	5
/2	10	0	0	0	5	3	5	0	2	¥	3	5	5
	30	0	,	2	5	5	5	0	,	4	5	5	5
,,	10	0	3	4	5	5	5	0	5	5	5	5	5
/ 3	30	1	5	s	5	5	5	0	5	5	5	5	5
14	10	0	0	0	/	1	4	0	,	,	0	3	4
	30	0	/	2	¥	3	5	0	,	3	,	3	5
15	10	0	0	0	3	/	5	0	,	,	5	0	5
	30	0	0	0	4	2	5	0	/	,	5	5	5
16	10	0	0	7	2	7	2	0	3	2	5	3	5
	30	0	4	2	5	,	4	0	2	3	5	5	4
I	10	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	2	5
17	30	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	¥	5
- 1	50	0	2	ز	0	•		0	0	,,	,		

注)用量は g/a を単位とし、表中の記号は次の意 截を有する: A 。コムギ; B 。イヌエピ; C 。メ ヒシパ; D 。ナタネ; E 。イヌタヂ; F ,アオピ ユ。

本発明の化合物(化合物派!~!る)はいずれるコムギに対する雑草作用はほとんどないが、イヌエビ、メヒンバ、ナタネ、イヌタデまたはアオビュに対して優れた選択的教草作用を示し、市販の除草剤限である PCP-Na (化合物派!?)よりもはるかに強力である。

試験例2

ノーメチルー3ー(3ーレーブチルー3ーインオキサゾリル)尿素を整腸液として用い、腫瘍条件における発芽後茎葉処理を行ない数草効果を調べた。使用量アールあたり!0~309の病田で次の雑草が除草できた。

タカサブロウ。ノボロギク、ツルソバ、ハコベ、 ウシハコベ、ザクロソウ、スカンタゴボウ、シロ ザ、ミミナグサ・スペリヒユ、ヤエムグツ、スズ ノノテツボウ、コニンキソウ、キウリグサ、コゴ

نـــنـ

録而機: 花玉石鹸株式会社製) ま製量部とを総合 粉砕して水和剤とまる。

実施例 3

イノージメチルー3ー(3ー1・プテル・3ーイソスキサゾリル)原来20製量配をジメチルホルムアミド63重量配に溶解し、これにソルポール800(登録路線:東邦化学工業株式会社製)ノる製量部を加えて乳剤とする。

実施例 4

イノ・ジノチルー3・(3-1-ブチル 3-イソオキサゾリル)以来!の裏板形。ソルナール (及録的機:東邦化学工業株式会社製)!の電板 肥、シクロヘキサノン2の裏板配むよびソルペン トナフサムの乗載配を配合路解して乳剤とする。

失趣例 5

スノーンノチルー3~(3~1~ブチルー3~ イソオキサゾリル)尿薬3の重量部。リグニンス ルホン暦カルシウム3重量部、ソルボール(存録 商際: 東邦化学工業株式会社製)3重量部および 环準七年4年前帳部を粉砕配合して水和剤とする。 メノカヤツリ、エノコログサ、ツメクサ、ノミノフスマ、カラスピシヤク、イヌガシラ、トキワハゼ、ハハコグサ、ムラサキカタバミ、ジシバリ、ヨモギ、ヒルガオ、クンポポ、アザミ、フキ、ワラビ、スズメノトウガラシ、チョウジタデ、ヒルムシロ、マツバイ。

試験例 3

/ - メチルー 3 - (5 - (- ブチルー 3 - イ ソオキサゾリル) 尿素の魚等性を、市販の PCP-Naと対比して、ヒメダカについて検討したところ、 値的で低いものであった。

以下に本発明の除草剤の実施例を挙げる。

実施例 /

パノージメチルー3ー(5ーしープチルー3ー イソオキサゾリル)尿素!の重量部を扱効タルク タの重量部と均一に配合し、粉剤とする。

突旋例 2

ノーブチルー3ー(5ー1・ブチルー3ーイツ オキサゾリル)原素20戦最高。クレー50収量 配。クルク25乗最配および湿度剤エマール(①

実施例 6

・ パノージノチル・3…(S-1-ブチル-3-イソオキサゾリル)説素3 製象配およびクレー 93 製象部を粉砕配合して粉頬とする。

実施例 2

ノーブチルーノーメチルー3ー(3ー1ーブチル・3・イソオキャプリル)反素含葉量化。リグニンスルホン酸カルシウム含素量部。ペントナイト3の事業部およびクレー6の重量部を粉砕配合し、水を加えて硬合し、近粒し、乾燥して粒剤を得る。

特許出版人 與對義製藥株式会社 代 理 人 弁理士 對條 光隆